

# 卓越大学院（仮称）構想に関する基本的な考え方について（概要）①

平成28年4月 卓越大学院（仮称）検討のための有識者会議

## 背景と必要性

- 我が国の経済成長が低迷する中で、これまでの政策で蓄積された人材や世界的に高い評価を得ている学術研究の強みを活かせる今こそ、「**卓越大学院（仮称）**」形成が必要であると提言。（※平成27年（2015年）9月 中央教育審議会「未来を牽引する大学院教育改革（審議まとめ）」）
- 優秀な日本人の若者の博士離れは、将来の国際競争力の地盤沈下をもたらす深刻な事態。若手人口減少の中、アジアを含めて世界から優秀な学生を惹きつけることも重要。
- 大学院教育に対し、ソーシャル・イノベーションを生み出し新しい社会を創造できる人材の育成が期待されている。
- 同じ研究領域・分野等に取り組む大学院が機関を超えて連携すれば、大学院教育の競争力向上が見込まれる。
- 研究大学では、優秀な大学院生に対する密な研究指導を行い、優先的・重点的にその能力を高め活かしていくことが課題。

## 目的・基本的な枠組み

海外の  
トップ  
大学等

共同研究  
への  
学生参加

新たな知の創造と活用を主導する  
博士人材を育成するため

共同研究  
への  
学生参加

民間  
企業

大学共同  
利用機関

**「卓越大学院（仮称）」**

教員－研究者  
人事交流

を組織的に連携して大学院教育プログラムを形成  
（※世界最高水準の教育力・研究力を具備）

社会人の  
博士号取得促進

国立研究  
開発法人

教員－研究者  
人事交流

学生を選抜・教員参画

A大学

A  
研究科・専攻

B  
研究科・専攻

C  
研究科・専攻

D  
附置研

B大学

A  
研究科・専攻

B  
研究科・専攻

...

## 博士人材育成の場としての対象領域

- ①我が国が **国際的な優位性と卓越性** を示している研究分野
- ②社会において多様な価値・システムを創造するような、**文理融合領域、学際領域、新領域**
- ③将来の産業構造の中核となり、**経済発展に寄与するような新産業の創出**に貢献する領域
- ④ **世界の学術の多様性を確保する**という観点から **我が国の貢献が期待**される領域

\* 上記①～④の複数に該当する申請も可能とし、領域横断的な審査も可能とする仕組みを検討することが期待される。

\* 養成したい人材像や連携機関の実情に応じた適切な連携方法によって自由な構想作りが出来るよう、多様な方式を認めるべき。